

まずは「お試しエコドライブ」募集中



エコドライブを
始めてみよう!

●「お試しエコドライブ」とは ●「お試しエコドライブ」の流れ

「ええとは聞くけど、ほんまかいな」「話だけではよう①電話でお問い合わせください。わからない」支援機器を使ったエコドライブをおすすめするとこんな声返ってきます。まずは体験・体感していただく。と地球環境基金の助成をうけて「お②スタッフがおうかがいます。お試しエコドライブ」(無料貸し出し)をはじめました。2006年度からはじめたこの事業も3年目を迎えます



●「お試しエコドライブ」の成果 ●申込書の提出・取り付け日の確定

■大阪星友運輸(いずれも4車)

	従前運転	エコドライブ期間	向上率
A車	4,903 km/L	5,395 km/L	10.03%
B車	4,584 km/L	5,017 km/L	10.62%

④デジタルタコグラフの取付け

⑤「お試しエコドライブ」スタート!

1. デジタルタコグラフ(矢崎製)を対象車両(2台)に3ヵ月間搭載していただきます。
2. 貸し出し期間前後の走行距離と燃料使用量を記録する等データを提出していただきます。



大阪星友運輸は「グリーン経営認証」事業所に登録するなど、社会をあげて環境にやさしい経営をすすめています。エコドライブコンテストにも参加し、2008年1月には「おおさかエコドライブ賞」を受賞しました。

●「お試しエコドライブ」はこんな成果がありました

大阪星友運輸・社長

石田 信行さん

「やるうと思えばできる」ことが分かった。プロ意識があると言うことかな。燃費向上については、これまで注意していたが結果につながらなかった。デジタルコを動かして、自分から努力したことがよかった。あきらめずに指導すればいい方向になると言うことがわかった。燃費向上は重要だが、無事故・安全が大事だ。一度、事故を起こしたら努力も水の泡になる。目の届かないところを機械(デジタルコ)におまかせして改善できるということだが、顔を合わせて会話することでより効果がある。今まで見えなかったのが見えるようになり、僕らだけではできなかったことをやって頂いて感謝している。



大阪星友運輸・運行管理者

此下 かずさん

「やるうと思えばできる」この一言を2ヶ月間聞き通し、プロドライバーとしての自負と、意思の固さ、根性を会社に見せつけてくれて、とてもびっくりさせられたのと同時にとても頼もしく感じられた2ヶ月間でした。エコドライブや地球環境・CO2排出量なんて難しい事は詳しくはわからなくても、ただ元気に事務所へ帰ってきてくれさえすれば本当はそれだけでとっても嬉しいのです。でもそのためにはエコドライブ走行を心がけて運行することが一番「安全な状態」へもっていくことへの鍵となることに気付いて良かったのです。



エコドライブ してよかった! 実感の声



エコドライブを
始めてみよう!

支援機器(デジタルタコグラフ=デジタルコ)を導入された運行管理者とドライバーの皆さんから現場の声をいただきました。

運行管理者

羯磨(かつま) 豊彦さん 東光サービス

正直な話、半信半疑で導入したのですが、第一印象は「こんなもんかな?」という感じでしたが、一番たいへんだったのは、(ドライバーに)これまで厳しくチェックで運行させていたことがなかったで、ドライバーの反応が心配だったのですが、さすがプロ、目標を持ち良い方に競争心が働いてやってくれるようになりました



ドライバー

渡辺 昌実さん 中越テック

デジタルコ自体が第3の目のような感じがするのです。ミニバイク等がしょっちゅう目の前を交差するのですが、デジタルコのおかげでそういうのがよく目に入るようになりました。今まで「あっ危ない!」ということがたくさんありましたが、それも少なくなったような気がします。それと、続けるということは音声の警告を少なくし



ドライバー

渡辺 淳一さん 大阪高速乳配

デジタルコをつけてなかった時は、アクセル踏た踏みですってと飛ばしていたのですが、つけてからは音声指導があるので、それなりに抑えて走っています。つけてなかった時は、スピード違反へのプレッシャーがありました。つけてからは気分的に楽になりました。



ドライバーの誇りを育みます
地球のこと、家族のことを考える「エコドライバー」として、子ども達に誇れます。

問題点もあります
◆周囲の交通流との折り合い
現在は全ての車がエコドライブに理解を示しているわけではありませんので、周囲の交通流と折り合いをつけながら、実践していかねばなりません。今後はエコドライブの仲間づくりが課題です。
◆運転方法が変わるのでドライバーが大変
ドライバーは今までと異なる運転方法で走行しなければならぬため、ドライバーの苦勞(ストレス)が増えるため、「やる気」を維持するのが大変です。そこで、事業主や運行管理者とドライバーとのコミュニケーションが鍵となります。
◆社内でのルールづくりや荷主の理解が必要
エコドライブの実践にあたっては、ドライバーの業務時間や負担の軽減を図るための社内業務に対応したルールづくりが重要です。

運行管理者

前田 正博さん 中越テック

新聞配達には(販売店への)店番時間がある、これが非常にシビアなものです。ドライバーは時間を非常に気にして運転しています。エコドライブを取り組むにあたって(荷主の)新聞社様に、スピードをできるだけ抑えて安全運転をさせたいということで、少し店番時間をずらせていただいて、スピードを10kmほど下げさせていただきました。これでデジタルコの効果もまた出ますし、安全にもつながっています。



ドライバー

伊集院 彬さん 城南産業

つはじめのころは、デジタルコに使われているみたいで苦痛でしたが、音声指導を逆手にとって、どうしたら減点にならないかを意識して走るようになりました。また、安全第一で走るので、見えないものが見えるようになりました。毎朝、渡される前日の安全運転日報を見て、その日の運転行動を考えるようにしています。今では満点を続けることが励みになっ

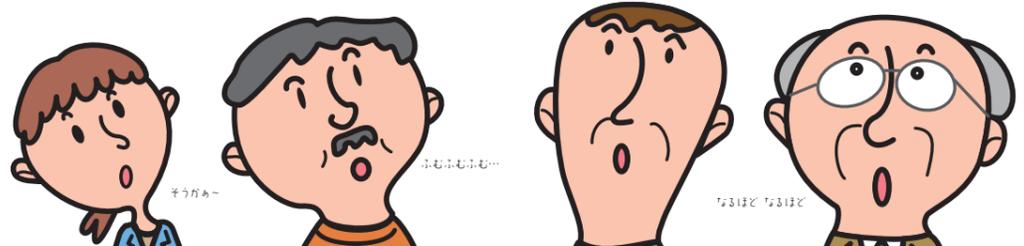


●「お試しエコドライブ」に関するお問い合わせ

あおぞら財団(財団法人公害地域再生センター)
Tel: 06-6475-8885 <http://www.aozora.or.jp/>
エコドライブの取り組み <http://www.ecodriver.info/>

●エコドライブへの支援

■エコドライブ普及推進協議会
エコドライブの推進を国民的運動として推進するために作られた組織。全日本トラック協会はじめ業界団体、国土交通省などが参加しています。事務局は交通エコロジー・モビリティ財団。詳しくはホームページをご覧ください。<http://www.ecodrive.jp/>



エコドライブを 始めてみよう!

エコドライブの
「一石四鳥」効果を
実感しませんか。

・エコドライブは、アイドリングストップや燃料消費の少ない効率的な走りでの運行、急発進・急加速・急減速など「急」のつく運転をやめて、おだやかな運転をすることで、

・この冊子ではおもに、音声ナビ付きデジタルタコグラフを使用したエコドライブの英